

令和2年度上期秋田支部事業報告について

事業実施状況報告

- 【KPI】 ①サービススタンダード※の達成状況
 ②現金給付等の申請に係る郵送化率

①	目標	100%	実績	100% <small>(令和2年9月)</small>	参考 元年度実績	100%	元年度 全国平均	99.9%
②		90.7%		94.9% <small>(令和2年9月)</small>		86.2%		91.1%

【令和2年度上期の主な取組み】

- ① サービススタンダードの達成状況
- 申請書の未処理防止のため、申請書の書類管理や進捗管理を徹底
- ② 現金給付等の申請に係る郵送化率
- 各種広報による事業主や加入者への周知を実施
 - 治療用装具取り扱い事業者4社と市内の総合病院に療養費支給申請書の配置を協力依頼
 - 窓口来訪による申請者(個人)に対し、郵送での手続き案内を送付

【令和2年度下期の課題・施策】

- ① 引き続き、申請書の書類管理や進捗管理を徹底し、サービススタンダードの達成と適正かつ迅速な保険 給付を実施
- ② ・各種広報による事業主や加入者への周知
- ・利便性の向上や新しい生活様式をふまえ、HPからの申請書のダウンロード等を活用した郵送手続きを推進
 - ・退職者が多い事業所あてに、任意継続資格取得申請について郵送での手続き案内を送付

*サービススタンダード: 現金給付の支給申請の受付から給付金の振込みまでの期間を10営業日以内とする

【KPI】 高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合

目標	88.0%	実績	85.4% <small>(R2年9月)</small>	参考 元年度実績	85.8%	元年度 全国平均	81.2%
----	-------	----	------------------------------	-------------	-------	-------------	-------

【令和2年度上期の主な取組み】

- 各種広報誌、メルマガにて制度周知と利用促進の広報を実施
- 8月 被保険者100人以上の318事業所あてに制度周知案内を送付
- 申請書配置協力医療機関に、手続き案内時に活用してもらうための制度周知チラシを配布

【令和2年度下期の課題・施策】

- 申請書配置協力医療機関に加入者(患者)への制度周知チラシを配布
- 申請書配置協力医療機関に申請書の配布状況を調査し、継続して協力依頼を行う

【KPI】 診療報酬支払基金と合算したレセプトの査定率*

目標	前年度以上	実績	0.194% <small>(R2年9月)</small>	参考 元年度実績	0.194%	元年度 全国平均	0.362%
----	-------	----	-------------------------------	-------------	--------	-------------	--------

【令和2年度上期の主な取組み】

- 点検員のスキルアップ
 - ・毎月の定期的な勉強会の実施(点検情報と査定結果の情報共有)
 - ・点検員への面談指導(査定結果データから個別の得意、不得意を把握し、支部の中での効果的な点検を指導)
- システム点検の精度向上
 - ・システムの点検マスタのメンテナンスの実施(毎月、査定結果から検討会を実施)
- 支払基金との連携
 - ・毎月、協議会を開催(支払基金の審査結果について、見落としや支部間差異の解消を目的とした)
- 進捗会議の活性化
 - ・毎月の開催と本部への進捗報告(前月の状況報告と実績向上に向けた対策と検討)

【令和2年度下期の課題・施策】

- 点検スキルの向上
 - ・点検結果データに基づく個別指導や研修会(Zoom研修等)、勉強会の開催
- 再審査結果の支部間差異の解消
 - ・協議会や再度の審査請求により、支払基金へ粘り強く査定を求めていく

*査定率:医療費総額に対するレセプト点検効果額の割合

【KPI】 柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位*以上、かつ月15日以上の施術の申請割合

目標	前年度以下	実績	1.33% <small>(R2年9月)</small>	参考 元年度実績	1.24%	元年度 全国平均	1.12%
----	-------	----	------------------------------	-------------	-------	-------------	-------

【令和2年度上期の主な取組み】

- 多部位かつ頻回の施術にかかる申請について、加入者あてに文書照会を実施
- 令和2年度上期照会件数 2,519件
- 多部位かつ頻回の施術にかかる申請など、疑義のある内容について柔整療養費審査会へ情報提供を行い、重点審査を実施

【令和2年度下期の課題・施策】

- 上期に引き続き、多部位かつ頻回の施術や疑義がある申請について、加入者への文書照会や適正受診の広報を実施

*3部位:1回の申請について施術箇所が3箇所以上

- 【KPI】 ①日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1ヶ月以内の保険証回収率
 ②返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る)の回収率
 ③医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合

①		96.4%		97.87% _(R2年9月)		96.2% _(R2年1月)		93.0% _(R2年1月)
②	目標	前年度以上	実績	71.09% _(R2年9月)	参考 元年度実績	85.83%	元年度 全国平均	54.11%
③		前年度以下		0.028% _(R2年9月)		0.029%		0.082%

【令和2年度上期の主な取組み】

- ① ● 文書と電話催告の確実な実施(文書催告は喪失処理から2週間以内の一次催告と一次催告から2週間後の二次催告、電話催告は回収不能届に記載の連絡先への架電と事業所への協力依頼)
 ● 保険証未添付事業所に回収のお願い文書を送付
- ② 積極的な保険者間調整の実施(保険者間調整は9月末で69件の受付。前年度38件)
- ③ ● 保険証の早期回収
 ● 他の保険者へ請求可能な資格喪失後受診レセプトの請求替えを、医療機関に対し積極的に実施

【令和2年度下期の課題・施策】

- ① 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1ヶ月以内の保険証回収率
- 徹底した電話催告の実施
 - 早期回収のため、事業所への文書等による協力依頼を実施
 - 加入者や事業所担当者へ広報誌やメルマガで周知
- ② 返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る)の回収率
- 文書、電話、個別訪問による早期催告と積極的な保険者間調整の実施
- ③ 医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合
- 保険証の早期回収の徹底
 - 医療機関に対し請求替えを積極的に依頼
 - 退職後の受診について、加入者へ広報等で周知

【KPI】 被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率

目 標	94.6%	実績	—%	参考 元年度実績	95.9%	元年度 全国平均	91.3%
-----	-------	----	----	-------------	-------	-------------	-------

【令和2年度上期の主な取組み】

- 各種広報による事業主への周知を実施
- 県社労士会を訪問し協力を依頼

※本部から事業所への被扶養者状況リストの送付(令和2年10月3日～10月31日 10,004件)

【令和2年度下期の課題・施策】

- 令和元年度の未提出事業所に対して、期限内提出の文書勧奨実施(323事業所)
- 本部による一次勧奨(文書)後に支部から二次勧奨(電話)を実施

1. 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上

- 【KPI】 ①生活習慣病予防健診受診率
 ②事業者健診データ取得率
 ③被扶養者の特定健診受診率

①		51.3%		25.4% <small>(R2年9月)</small>		51.2%		52.3%
②	目標	16.2%	実績	8.7% <small>(R2年9月)</small>	参考 元年度実績	15.2%	元年度 全国平均	7.6%
③		33.6%		8.51% <small>(R2年9月)</small>		25.5%		25.5%

【令和2年度上期の主な取組み】

- ① 生活習慣病予防健診
 - みやぎ健診プラザとの新規契約による実施機関の拡大
- ② 事業者健診データ取得
 - 電話、文書、訪問による勧奨活動を強化
- ③ 特定健診(被扶養者)
 - 協会の補助金を6,650円から7,150円(+500円)に引き上げ

【令和2年度下期の課題・施策】

- ① 生活習慣病予防健診
 - 1～3月に検診車による集団健診を実施(秋田市・由利本荘市)
- ② 事業者健診
 - 事業所での定期健診受診者(パート勤務等)の結果取得
- ③ 特定健診(被扶養者)
 - ナッジ理論に基づいた受診勧奨ハガキの送付
 - 利便性の良い場所での集合健診を10・11月、2・3月(自己負担額0円)に実施(まるごと市場・秋田テルサ・ふるさと村・バーリーズクラブ)
 - 通院中の方の受診券の活用ができていない

- 【KPI】 ①被保険者にかかる特定保健指導実施率
 ②被扶養者にかかる特定保健指導実施率

①	目標	26.6%	実績	8.1% <small>(R2年8月)</small>	参考 元年度実績	28.5%	元年度 全国平均	18.0%
②		12.1%		2.5% <small>(R2年8月)</small>		12.3%		11.8%

【令和2年度上期の主な取組み】

① 被保険者

- 委託機関の拡大(健診当日実施機関の拡大)
 - ・秋田赤十字病院附属あきた健康管理センター、のしろ厚生医療センターと契約
 - ・外部委託(株式会社ベネ・フィットワン)で実施
- 中途中断者の減少
 - ・保健師、管理栄養士の研修内容の充実

② 被扶養者

- 委託機関の拡大
 - ・株式会社サノ・ファーマシー 県内薬局 7箇所、大曲リハビリテーションクリニックと契約
 - ・実施者の確保(保健師10名 管理栄養士4名) 7月に2名採用 定員充足

【令和2年度下期の課題・施策】

① 被保険者

- 委託先の拡大(今後、3機関実施予定)

② 被扶養者

- 集合健診の結果説明会(県内5会場)による特定保健指導の実施

【KPI】 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合

目標	12.9%	実績	12.06% <small>(R2年9月)</small>	参考 元年度実績	9.5%	元年度 全国平均	10.5%
----	-------	----	-------------------------------	-------------	------	-------------	-------

【令和2年度上期の主な取組み】

- 外部委託先(株式会社MHI)による電話での二次勧奨の実施
- 支部での文書勧奨の実施

【令和2年度下期の課題・施策】

- 未治療者への積極的な受診勧奨のため、事業所に対する受診勧奨及びアンケートの実施
- 対象者に対して文書による啓発活動の実施

- 【KPI】 ①広報活動における加入者理解率
 ②全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数割合

①	目標	前年度以上	実績	—%	参考 元年度実績	43.4%	元年度 全国平均	45.6%
		51.0%		51.7%(R2年9月)		49.2%		42.3%
②								

【令和2年度上期の主な取組み】

① 各種広報誌・メディアにて広報を実施

広報媒体名	健康保険あきた (納入告知書同封チラシ)	約1.6万部 (毎月)	広報媒体名	まメールだすか (メールマガジン)	約2千配信 (毎月)	広報媒体名	秋田市スポーツ少年団・ 秋田市中学校体育連盟会報 アクセス	秋田市内中心に 約3万部
	まめだすか (健康保険委員機関紙)	約2千部 (四半期1回)		支部ホームページ	約1.5万アクセス (月)		秋田市体育協会会報 フェア	秋田市内中心に 約4.5万部
	健康保険はやわかりガイド (制度説明リーフレット)	約2千部		社会保険あきた (秋田県社会保険協会広報紙)	約8千部 (偶数月)		フリーペーパー エー・クラス	秋田市内を中心に 約18万部

WEB媒体を用いた広報

- 加入者理解度向上広報(けんぽチャレンジ25)の実施(クイズ回答者数10,046名:令和2年9月末時点)
- 健康保険委員を中心とした加入者WEBアンケートの実施(令和2年8月実施、回答者数774名)

② 健康保険委員

- 被保険者数20人以上の大規模事業所へ文書勧奨実施

【令和2年度下期の課題・施策】

- ①引き続き、紙媒体・WEB媒体による広報をバランスよく実施し、健康保険委員のご協力をいただきながら広く情報を発信
- ②引き続き、健康経営の拡大と合わせて健康保険委員を増加させるとともに、研修会案内や広報誌郵送時などに、協会けんぽの各種事業について理解を深めていただくための広報を実施

【KPI】 ジェネリック医薬品の使用割合

目標	81.4%	実績	80.6% <small>(R2年7月)</small>	参考 元年度実績	80.8%	元年度 全国平均	78.7%
----	-------	----	------------------------------	-------------	-------	-------------	-------

【令和2年度上期の主な取組み】

- 9薬局を訪問し、現状等のヒアリングと使用促進に向けた協力依頼を実施するとともに、医薬品実績リストを持参して情報提供を実施
- 軽減額通知サービスを送付 1回目35,446件
- 県内の603医療機関・498薬局に対して、自機関の使用割合が見える化したお知らせと、東北厚生局秋田事務所長及び秋田県健康福祉部長の連名による協力依頼文書を送付

【令和2年度下期の課題・施策】

- 軽減額通知サービスの2回目送付
- ジェネリック医薬品Q&A冊子をセットしたお薬手帳ホルダーの作成・配布
- 県薬剤師会と連名でフリーペーパーへの広告掲載による情報発信
- 薬局を訪問して協力依頼を実施
- 医薬品実績リストのホームページへの掲載
- 関係団体(東北厚生局秋田事務所、県、健保連秋田連合会)との意見交換会の開催

6. 医療データ分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ

- 【KPI】 ①他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率
 ②「経済・財政と暮らしの指標『見える化』データベース」などを活用した効果的な意見発信

①	目標	100%	実績	100% <small>(R2年9月)</small>	参考 元年度実績	100%	元年度 全国平均	84.4%
②		意見発信の実施		未実施 <small>(R2年9月)</small>		実施		38支部

【令和2年度上期の主な取組み】

- ① 地域医療構想調整会議は新型コロナの影響等により開催中止
 ※県内8二次医療圏(①大館・鹿角、②北秋田、③能代・山本、④秋田周辺、⑤由利本荘・にかほ、⑥大仙・仙北、⑦横手、⑧湯沢・雄勝)のうち、協会けんぽ(支部長、企画総務部長、業務部長)は①～④、⑥～⑧の地域を担当し、健保連秋田連合会は④、⑤の地域を担当
- ② 秋田県医療審議会が8月に開催され、第7次医療計画の中間見直しや高度救命救急センターの設置にかかる医療計画の変更について協議を行った

【令和2年度下期の課題・施策】

- 二次医療圏別の患者流出入状況(入院・入院外別、疾病別)にかかる資料を作成し、10月に開催の秋田県医療審議会
 で配布するとともに、資料に基づき意見発信を実施

【令和2年度上期の主な取組み】

- 健康経営宣言
 - ・健康経営宣言事業所数:1,141事業所(令和2年9月30日現在)
- ◇健康経営の普及・フォローアップ◇
 - ・健康経営テレビミニ番組を制作
 - ・事業所カルテや季節の健康(広報誌)の送付等フォローアップの実施
 - ・秋田県スポーツ科学センター監修のもと大型ストレッチポスターを作製・配布
- 秋田大学との共同研究
 - ・秋田県トラック協会会員事業所に対してトラックドライバーの健康度に関するアンケートを実施
- 受動喫煙対策
 - ・世界禁煙デーにおけるたばこの害に関するポスターを作成(秋田県・秋田県医師会・あきたタバコ問題を考える会と共同)

【令和2年度下期の課題・施策】

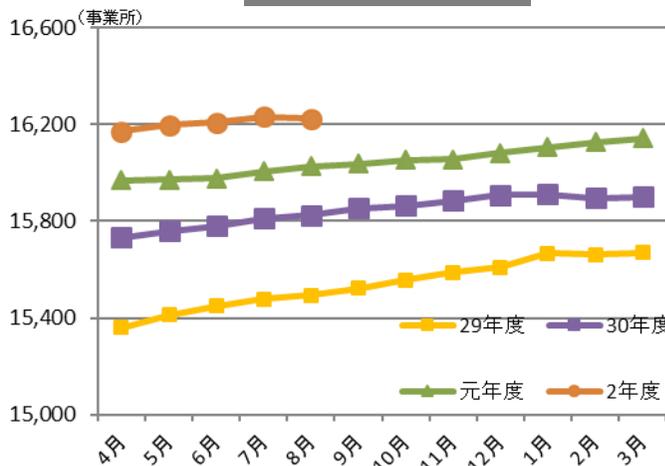
- 秋田県トラック協会と協同で、宣言及び従業員の健康増進を拡大
- 元年度に引き続き、健康経営の普及を目的とした健康経営テレビミニ番組を放映
- 第79回日本公衆衛生学会(10月開催)にて6題発表
- 職場における歯科健診の実施(共催:秋田県歯科医師会・秋田県口腔保健支援センター)
- 令和2年10月31日受動喫煙防止フォーラム実施(主催:秋田県・秋田県医師会・あきたタバコ問題を考える会)
- 漫画でタバコの害を伝えるパンフレットを作成し、喫煙者へ送付

秋田支部概況（基礎データ）

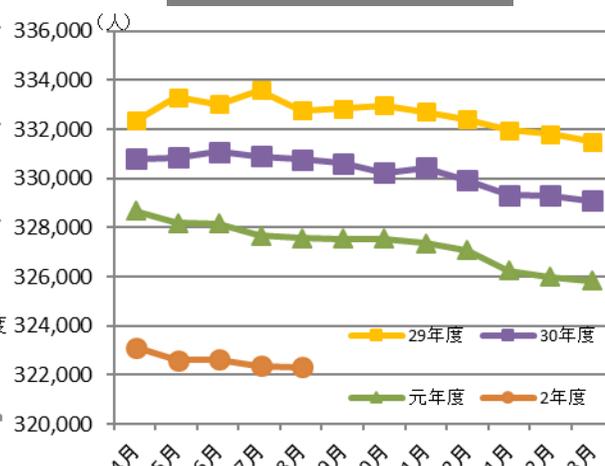
適用関係の推移

	事業所数(件)		加入者数(人)		被保険者数(人)		被扶養者数(人)		平均標準報酬月額(円)	
		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比
29年度平均	15,539	3.19%	332,606	▲0.51%	204,260	0.88%	128,345	▲2.65%	236,455	0.76%
30年度平均	15,844	1.96%	330,278	▲0.70%	205,340	0.53%	124,938	▲2.66%	239,573	1.32%
元年度平均	16,046	1.28%	327,321	▲0.90%	205,630	0.14%	121,691	▲2.60%	242,140	1.07%
2年度平均	16,207	1.00%	322,614	▲1.44%	204,385	▲0.61%	118,229	▲2.84%	242,305	0.07%
4月	16,173	1.28%	323,132	▲1.69%	204,214	▲0.82%	118,918	▲3.14%	242,418	0.88%
5月	16,198	1.43%	322,595	▲1.85%	204,439	▲0.71%	118,156	▲3.76%	242,229	0.80%
6月	16,208	1.48%	322,638	▲1.69%	204,598	▲0.81%	118,040	▲3.17%	241,996	0.80%
7月	16,231	1.59%	322,375	▲1.76%	204,427	▲0.96%	117,948	▲3.12%	242,341	1.02%
8月	16,224	1.36%	322,332	▲1.63%	204,249	▲0.88%	118,083	▲2.90%	242,543	0.87%

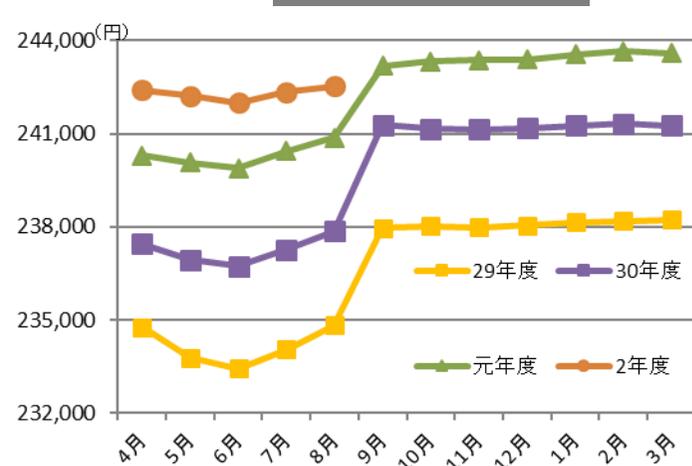
事業所数



加入者数



平均標準報酬月額



保険給付費と1人当たり医療費の推移

	保険給付費 (百万円)		加入者一人当たり 医療費(円)		入院		外来		歯科	
		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比
29年度 平均	4,530	1.79%	16,069	2.61%	4,774	1.66%	9,683	3.25%	1,612	1.63%
30年度 平均	4,620	1.98%	16,480	2.56%	4,975	4.22%	9,859	1.81%	1,646	2.14%
元年度 平均	4,701	1.76%	16,908	2.59%	4,941	▲0.69%	10,272	4.20%	1,695	2.94%
2年度 平均	—	—	16,496	▲2.44%	4,837	▲2.09%	9,917	▲3.46%	1,742	2.78%
4月	4,506	▲3.39%	16,472	▲2.08%	4,826	2.31%	9,948	▲4.74%	1,698	2.22%
5月	4,158	▲10.85%	15,116	▲5.92%	4,449	▲7.94%	9,092	▲6.08%	1,576	▲5.14%
6月	4,717	4.74%	16,861	1.24%	4,700	▲7.38%	10,294	4.66%	1,868	20.19%
7月	—	—	17,460	0.38%	5,187	3.22%	10,434	▲1.13%	1,839	5.38%
8月	—	—	16,569	0.86%	5,025	0.26%	9,815	0.23%	1,729	▲4.77%

※保険給付費は数値を精査中のため7月分より掲載を見送っています。

